

特集 |

長期ケア施設における 看護管理の魅力とその実際



長期ケア施設は、療養病床、リハビリテーション病院などのほか、介護老人保健施設、有料老人ホーム、介護老人福祉施設など多岐にわたる。昨今、急性期病院の若手看護管理者がこうした施設に移り、そのマネジメント能力を発揮し、活躍することが増えてきているという。

そこで看護管理に求められることは、地域における自施設の役割や機能を明確に意識しながら、施設内での尊厳あるケア提供に責任をもち、経営的に成功させる、というきわめて高度な問題解決である。優秀な看護管理者が活躍する場として注目される理由はここにある。

本特集では、これらをふまえて、長期ケア施設の看護管理者に必要な知識の集約および構造化を図る端緒としたい。